

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月13日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9386 URL http://www.n-concept.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部長 (氏名) 若園 三記生 (TEL) 03-3507-8812  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 2019年9月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	6,341	6.9	1,013	14.3	997	13.5	699	13.7
2018年12月期第2四半期	5,931	5.2	887	△8.3	878	△5.1	615	△5.2

(注) 包括利益2019年12月期第2四半期 646百万円(13.1%) 2018年12月期第2四半期 572百万円(△10.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	50.47	—
2018年12月期第2四半期	45.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	18,101	10,330	57.1
2018年12月期	17,734	9,891	55.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 10,330百万円 2018年12月期 9,891百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年12月期	—	15.00			
2019年12月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,710	4.5	1,985	2.4	1,950	1.9	1,349	0.2	97.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期2Q	13,868,500株	2018年12月期	13,868,500株
2019年12月期2Q	557株	2018年12月期	537株
2019年12月期2Q	13,867,960株	2018年12月期2Q	13,616,806株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	増減額 (増減率)	
売上高 (千円)	5,931,313	6,341,805	410,492	(6.9%)
営業利益 (千円)	887,067	1,013,735	126,667	(14.3%)
経常利益 (千円)	878,672	997,517	118,844	(13.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	615,652	699,857	84,205	(13.7%)
保有基数 (6月末時点)	7,523本	7,903本	380本	(5.1%)
稼働率 (6ヶ月平均)	78.7%	75.6%	△3.1%	

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、工作機械や半導体製造装置などの機械、自動車などの輸送機器、電子部品など主要輸出品の不振が続きましたが、労働需給の引締まりに伴う緩やかな賃金上昇による消費の拡大や、企業の省力化投資等に後押しされた堅調な国内需要を背景に、緩やかな拡大基調が維持されました。

世界経済に目を向けますと、米国景気は底堅い成長が続くというのが基本的見方ではありますが、企業投資が減速して、製造分野が弱含んでいる側面もあり、また欧州域内経済も好調な雇用が支える形で底堅い一方、米中貿易摩擦や中東の緊張状態の高まりなど外部要因が景気に下押し圧力をかける懸念があります。中国では、6月の国内総生産(GDP)の成長率が前期を下回り、1992年以降で最低を記録する中、工業生産・不動産投資とも減速、輸出・輸入も減少しており停滞感が強まっている状況がうかがえます。

このようなビジネス環境のなか、当社は、これまで日本国内で生産していた化学品を海外から調達することにより日本では付加価値の高い化学品を製造することにシフトしているメーカー向けの輸入取引の獲得に注力することにより、着実に成果を上げております。また、一昨年にスタートした高圧ガスビジネスにおいても、フロンガスの再生、回収、破壊事業が順調に拡大しているうえ、同事業に附随するビジネスや新しい顧客も着実に増加しており、当第2四半期連結累計期間における売上は、前連結累計期間を410百万円上回る6,341百万円(前年同期比+6.9%)と過去最高を記録しております。

また、利益面におきましても、更なる事業の拡大を展望した設備投資や人財確保のため、支店設備の増強やタンクコンテナ保有基数の増大などの設備投資に伴う減価償却費や人件費等が増加しているものの、営業利益は前連結累計期間を126百万円上回る1,013百万円(前年同期比+14.3%)となり、経常利益においても前連結累計期間を118百万円上回る997百万円(前年同期比+13.5%)を計上しております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上総利益率は27.4%と前年同期比0.8%増加し、売上高営業利益率が16.0%と前年同期比1.0%増えたほか、売上高経常利益率も15.7%と前年同期比0.9%増となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ366百万円増加(2.1%増)し、18,101百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ418百万円増加(7.3%増)し、6,129百万円となりました。その他流動資産が148百万円減少したものの、現金及び預金が548百万円、売掛金が18百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少(0.4%減)し、11,971百万円となりました。タンクコンテナ(純額)が32百万円増加したものの、建物及び構築物(純額)が72百万円、その他有形固定資産が7百万円減少したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加(3.7%増)し、3,095百万円となりました。1年内返済予定の長期借入金が113百万円、未払法人税等が27百万円減少したものの、買掛金が19百万円、短期借入金が98百万円、リース債務が23百万円、その他流動負債が121百万円増加したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ181百万円減少(3.7%減)し、4,676百万円となりました。リース債務が232百万円、その他固定負債が17百万円増加したものの、長期借入金441百万円減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ438百万円増加(4.4%増)し、10,330百万円となりました。為替換算調整勘

定が52百万円減少したものの、利益剰余金が491百万円増加したことが主な要因です。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度末に比べて421百万円増加し、3,887百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれに係る要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,500百万円（前年同四半期は1,011百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益995百万円と減価償却費540百万円であり、法人税等の支払額312百万円が主な資金の減少要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、174百万円（前年同四半期は449百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は定期預金の純増額138百万円と有形固定資産の取得による支出36百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、874百万円（前年同四半期は842百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、短期借入金の純増額98百万円であり、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出554百万円、リース債務の返済による支出211百万円、及び配当金の支払額206百万円です。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,772,856	4,321,163
売掛金	1,413,818	1,432,804
その他	525,193	376,346
貸倒引当金	△796	△749
流動資産合計	5,711,072	6,129,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,564,159	1,491,174
タンクコンテナ(純額)	7,302,872	7,335,253
土地	2,195,963	2,195,963
その他(純額)	419,399	411,951
有形固定資産合計	11,482,395	11,434,341
無形固定資産	295,323	294,154
投資その他の資産	246,203	243,483
固定資産合計	12,023,923	11,971,979
資産合計	17,734,995	18,101,544
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	775,827	795,205
短期借入金	152,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	983,254	870,121
リース債務	393,034	416,318
未払法人税等	347,232	319,951
賞与引当金	34,605	31,594
株主優待引当金	9,166	—
その他	291,087	412,275
流動負債合計	2,986,207	3,095,468
固定負債		
長期借入金	2,656,140	2,214,521
リース債務	1,967,965	2,200,468
退職給付に係る負債	112,057	121,736
その他	121,470	139,333
固定負債合計	4,857,632	4,676,060
負債合計	7,843,840	7,771,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,134,781	1,134,781
資本剰余金	1,060,941	1,060,941
利益剰余金	7,690,674	8,182,511
自己株式	△384	△407
株主資本合計	9,886,013	10,377,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△904	△1,085
為替換算調整勘定	6,046	△46,726
その他の包括利益累計額合計	5,141	△47,811
純資産合計	9,891,154	10,330,015
負債純資産合計	17,734,995	18,101,544

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,931,313	6,341,805
売上原価	4,349,243	4,601,769
売上総利益	1,582,069	1,740,036
販売費及び一般管理費	695,001	726,301
営業利益	887,067	1,013,735
営業外収益		
受取利息	3,485	7,044
為替差益	7,872	2,293
受取家賃	2,968	3,467
受取保険金	4,902	925
受取補償金	172	126
補助金収入	1,980	1,452
その他	1,497	440
営業外収益合計	22,879	15,750
営業外費用		
支払利息	30,956	31,759
その他	317	209
営業外費用合計	31,274	31,969
経常利益	878,672	997,517
特別利益		
固定資産売却益	—	2,223
特別利益合計	—	2,223
特別損失		
固定資産除却損	382	3,944
特別損失合計	382	3,944
税金等調整前四半期純利益	878,290	995,795
法人税等	262,637	295,938
四半期純利益	615,652	699,857
親会社株主に帰属する四半期純利益	615,652	699,857

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	615,652	699,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△214	△180
為替換算調整勘定	△43,352	△52,772
その他の包括利益合計	△43,567	△52,953
四半期包括利益	572,084	646,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	572,084	646,904
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	878,290	995,795
減価償却費	495,836	540,056
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,520	△2,435
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△6,725	△9,166
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,470	9,679
受取利息	△3,485	△7,044
支払利息	30,956	31,759
為替差損益(△は益)	52	2,911
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,223
有形固定資産除却損	382	3,944
売上債権の増減額(△は増加)	1,120	△22,758
仕入債務の増減額(△は減少)	△101,858	32,279
立替金の増減額(△は増加)	79,531	△6,801
その他	△45,269	272,070
小計	1,334,792	1,838,051
利息の受取額	3,483	7,044
利息の支払額	△30,934	△32,036
法人税等の支払額	△295,360	△312,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,011,980	1,500,913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	50,706	△138,190
有形固定資産の取得による支出	△427,313	△36,815
有形固定資産の売却による収入	—	3,581
無形固定資産の取得による支出	△62,431	△2,600
敷金及び保証金の差入による支出	△10,616	△593
敷金及び保証金の回収による収入	326	214
その他	240	246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,088	△174,159
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△181,000	98,000
長期借入れによる収入	842,000	—
長期借入金の返済による支出	△519,042	△554,752
株式の発行による収入	1,068,683	—
自己株式の取得による支出	—	△23
リース債務の返済による支出	△162,474	△211,220
配当金の支払額	△195,440	△206,034
その他	△10,429	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	842,296	△874,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,065	△30,981
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,381,123	421,741
現金及び現金同等物の期首残高	2,148,397	3,466,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,529,520	3,887,788

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。